



牡丹だより

第3号

【ホームページ】 <http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～真っ赤なサクランボ～



新しい刺激！

市之瀬幼稚園へ寄せてもらいました。

市之瀬幼稚園では、市之瀬幼稚園の子どもたちがつくったお化け屋敷で遊ばせてもらいました。遊んだ後には、お化け屋敷の仕掛けに興味津々、市之瀬幼稚園の友達に一つ一つ説明してもらいました。

さて、翌日の子どもたちは、お化け屋敷を自分たちでもやってみたくなりました。保育室で使っていた OHP に透明カップに目を描いたものをお化けのつもりで映してみました。でも、市之瀬幼稚園で見た映し方とちょっと違います。子どもたちと担任は相談しました。

まず、懐中電灯が必要となり、剣用務員さんに交渉して貸してもらいました。そして、次は映すための布を探し、ハンガーラックに掛けました。

画用紙を好きな形に切って持ち手に紙棒を付け、後ろから懐中電灯の光を当ててみました。すると、反対側の布の前では黒い形が写し出されました。次にピカピカ光る銀色の紙を映してみると、これも真っ黒。使った画用紙の色が映ると思ったのに予想と違ったようです。一人の子どもが「色が映るようにしたいんだよね。」とつぶやきます。担任は「いろいろなので試してみたら？」とアドバイス。その子どもは、次にカラーセロファンを選びました。少し切りにくいけれど切った形にパンチで穴をあけ、紙棒を持ち手にして映してみました。すると、思った通りの色と目がたくさんあるお化けの形が映りました。みんなが「映ってる」「きれい」と言ってくれます。映している子どもは自分でも見たいので、布の脇に立って映しながらのぞき込むように見ようとしていました。出来上がったお化けをもって振ったり、前後に動かしてみたり、見てくれている友達や先生は「大きくなったよ。小さくなった。」と様子を教えてくれます。そして、試しているうちにお化けの動きに「ウォ～」と声を出し、まるでアテレコのようにでした。

つくっている時は電気をつけていました。一人の子どもが電気を消そうとしました。担任が「そういう時は、みんなに聞くといいよ。」と言うと、電気を消そうとした子どもは「アッ！そっか。みんな電気消してもいい～？」と聞きました。みんなの答えは「い～よ～！」。みんなで遊ぶときには、みんなの都合も聞かなければね。

「面白そう」「もっと知りたい」と諸感覚を使って試行錯誤し、思うようにいったりいかなかったりする楽しさを味わいながら子どもたちは探究心を育んでいきます。それを育んでいくためには、その子どもの思いに寄り添ってくれる大人と何度でも試せる環境や気付きを促す言葉掛け、そして、ともに刺激し合える友達の存在が欠かせません。

さてはて？牡丹山幼稚園のお化け屋敷はどんなお化け屋敷になるでしょうか。





春の味・姫だけ(食育)

今年も、園庭に姫だけが顔を出しました。♪か〜わをむいてかわむいて♪食いしん坊の子どもたちは、湯がいて食べたり、竹の子ご飯をおにぎりにしたりしていただきました。



みんなでお祝い(主体性)

5月、子どもたちは木村先生の誕生会を開きました。自分人形を作りそれを使って、園で遊んでいる様子をお話しにして、演じました。大好きな先生にやってあげたいことがいっぱいでした。



自分たちの鯉のぼりをつくろう(協同)

寺山公園にある「いーてらす」に飾るこいのぼりを作ったり、園庭に毎日こいのぼりを泳がせたりしていた子どもたちは、自分たちのこいのぼりも作ることにしました。好きな色のビニール袋を選びつなぎ合わせました。長くなると、子どもはなぜか中に入りたくなるのですね。「目」にするための丸を集めたり、うろこを貼ったりして完成！空高く泳ぐこいのぼりの家族でした。



県立幼稚園の年長・中組さんと交流しました。各園で作成した鯉のぼりを見たり、寺山公園の遊具で一緒に遊んだいしました。



すこやかタイム(食育)。野菜を食べるといいことがたくさんあるよ。



お母さんに似合うのは、ピンクのお洋服、コツコツの靴、赤い口紅！



毎月1回、おうちの人による、読み聞かせの時間。



お店で、3人で考えた野菜の苗を買いました。ナス、ピーマン、おくら、すいか、ポッポコーン等々、毎日水やりをしてお世話をしています。



小学校の屋休みに、1年生、2年生、3年生が遊びにきてくれました。